

2015年度(平成27年度)事業計画書

特定非営利活動法人アジア・アフリカと共に歩む会

1 事業実施の方針

南アフリカ共和国クワズルーナタール州ウグ郡を中心とした途上国の貧窮地域の学校を学校図書、菜園活動、スポーツ・課外活動を支柱に支援することで、そのような地域の将来を担う子どもや若者の学力、技術、生活能力を総合的に高めていく。

ウグ郡ムタルメ・トゥートン・ウムズンベ学区を対象地域に選定して3年目を迎える今年度は、事業対象者の自主継続に向けて、過去2年間に築いた活動基盤を強化し、対象者の自主運営を促す支援をしていく。また、カウンターパートへの引き継ぎ作業を滞りなく行う。

学校図書支援活動事業

ここ数年、対象地域内での人口移動（立ち遅れている山岳部から、開発が多少進んだ沿岸部への人口流入）が激化し、それにより、教師異動や生徒数変動による教育環境の混乱がみられるようになってきた。このような教育環境劣化のなか、生徒が自習ができる学校図書環境を整える意義は一段と大きくなった。当事業では、各対象校の図書環境を充実させて、読書習慣を促し、基礎学力の基盤となる読み書き能力を向上させる。さらに、算数の基礎力を身につけるために、図書室に算数セットを置き、生徒たちが自由に数遊びができるような環境を作る。

また、対象校が自力で図書活動を継続・推進するために、各校の図書委員会生徒と司書教師が学校図書運営能力を向上し、先輩から後輩へスキルが引き継がれるシステムを整えるなど、継続・定着への人育てとシステム作りにも注力する。

学校およびコミュニティー菜園支援活動事業

2013年8月より「対象地域が学校を拠点とした有機農業促進のモデル地域となる」ことを目標に実施してきた当事業は、2016年1月末で終了する。最終年度となる今年度は、学校菜園活動の定着・根付きを確実にするために、菜園委員会の運営・管理能力を高め、継続へのシステムを確実にしていく。また、学校から地域へ菜園活動を普及させるために、学校菜園で技術を学んだ教師・生徒・保護者に家庭菜園の開始を促し、彼らが地域住民や他の生徒や教師に菜園技術を教えることができるように人材育成に注力する。また、継続を確かなものにするために、カウンターパートである教育省との引き継ぎ作業を行う。

卒業生グループについては、引き継ぎ先である地元コミュニティグループ、URDO (Ugu Rural Develepment Organization) に実際の活動に参加してもら

い、彼らと一緒に、事業対象者のマネージメントスキルの育成と、地元での販売ルート開拓に注力し、事業終了後のグループの自立した継続活動を確かなものにする。

スポーツ・課外活動振興事業

日本では引き続き中古のサッカーボールを収集すると同時に、当事業の意義を伝えるために広報活動に励む。現地では、サッカーボールを対象校に配布し、サッカーを通じて、TAAAスタッフは生徒との交流を深める。また、地元のコミュニティグループ主催のサッカー対抗試合に協力し、対象地域でのスポーツ活動振興を図る。

2 事業の実施に関する事項（2015年4月1日 ～ 2016年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数		支出見込み額 (千円)
学校図書支援活動事業	<p>基礎教育支援のための学校図書環境改善および読書推進活動</p> <p><u>日本</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の本の収集、梱包、発送作業。 ・ズールー語（対象地域の母語）のラベルを貼った絵本作成。 ・算数セットの収集、梱包、発送作業 ・ポスター配布などによる当事業の広報活動 <p><u>南アフリカ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本から送った本の配布。母語（ズールー語）を中心とする本の購入と配布 ● 学校図書室や学級文庫の設置・拡充・環境改善支援 ● 研修会や訪問指導による司書教師の育成 ● 訪問指導による図書委員会生徒たちの図書運営スキル強化。彼らの図書運営、図書推進活動への支援。 ● 移動図書館車による学校巡回訪問。本の貸し出し、読書推進活動、図書の扱い方などの指導。 	<p>日本・南アフリカ共和国ウグ郡 ムタルメ・トワート・ウムズンベ学区</p>	<p>南ア側 4人 日本側 15人</p>	<p>小・中・高校 40校 その他</p> <p>教師 400人 生徒 12,000人</p>		<p>2,611</p>

学校およびコミュニティ菜園支援活動事業	<p>学校菜園およびコミュニティ菜園における地域環境保全型農業促進指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ●継続と自立へ向けて、各校の菜園活動システムの強化。 ●学校から家庭菜園への促進 ●菜園活動普及のための人材育成 菜園技術、管理能力、ティーチング・スキル ●卒業生グループの活動促進、販売ルート開拓 ●引き継ぎに向けて、事業対象者、TAAA、rカウンタートパートの3者の協力体制の強化 	南アフリカ共和国ウグ郡ムタルメ・トウルト・ウムズンベ学区	南ア側 5人 日本側 3人	小・中・高40校	<p><u>直接</u> 校長 40人 教師 40人 生徒 360人 保護者120人 卒業生グループ メンバー 40人</p> <p><u>間接</u> 教師および生徒 8,000人 地域住民 2,000人</p>	7,460
スポーツ・課外活動振興事業	<p><u>日本</u> サッカーボール収集、梱包、発送作業。 当事業の広報活動</p> <p><u>南アフリカ共和国</u> ●日本から送られてきたサッカーボールやサッカーマニュアルの配布およびサッカー交流 ●地元NGOによる対抗試合の協力</p>	日本・南アフリカ共和国ウグ郡ムタルメ・トウルト・ウムズンベ学区	南ア側 3人 日本側 3人	小・中・高40校 その他	生徒 8,000人	80
合計						10,151